

(様式2)

[illegible]

令和 6 年度 沖縄県立北山高等学校				年間指導計画表				科目名										言語文化		2 単位					
				学科	普通科・理数科		学年	1学年																	
目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。														教科書		第一学習者『高等学校 標準言語文化』							
指導事項・言語活動例		月 単元名		4	4	5	5	6	6	7	9	10	11	12	1	1	2	3			総 時 数				
				（う 文 語 の き ま り を 理 解 し よ （ 児 の そ ら 寝 ）	（を 捉 え ろ み な ら び ろ う の 歌 ）	（見 方 に 表 れ て い る 意 思 を 理 解 し よ （ 絵 画 や 表 現 の 方 法 を 理 解 し よ ）	（訓 読 の き ま り を 理 解 し よ （ 訓 読 に 親 し む ）	（容 易 な 文 章 の 種 類 を 理 解 し よ （ 故 事 や 説 話 の 種 類 を 理 解 し よ ）	（を 捉 え ろ み な ら び ろ う の 歌 ）	（の 文 章 の 種 類 を 理 解 し よ （ 夢 や 現 実 の 描 写 を 理 解 し よ ）	（オ リ ジ ナ ル の 夢 十 夜 を 作 る ）	（積 ん だ 材 料 を 理 解 し よ （ 徒 然 草 ）	（筆 者 の 意 図 を 理 解 し よ （ 漢 詩 の 鑑 賞 ）	（係 を 理 解 し よ （ 羅 生 門 ）	（伊 勢 の 物 語 ）	（歌 の 内 容 を 理 解 し よ （ 伊 勢 の 物 語 ）	（を 捉 え ろ み な ら び ろ う の 歌 ）	（中 国 の 文 化 と 理 解 し よ （ 中 国 の 文 化 と 理 解 し よ ）	（捉 え ろ み な ら び ろ う の 歌 ）						
		古典・近現		古典	近現	古典	古典	古典	古典	近現	近現	古典	古典	近現	古典	古典	古典	古典							
		指導時数		1	5	5	1	5	2	4	2	8	8	6	6	7	5	5			70				
〔知識及び技能〕	言葉の特徴や使い方に 関する事項	(1)	ア	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。						◎			○												
			イ	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。									○												
			ウ	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。														○							
			エ	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。												◎									
			オ	本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。													○	◎							
	我が国の言語文化に 関する事項	(2)	ア	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。	○			○		○								◎							
			イ	古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。				◎		○				○	○		◎								
			ウ	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。	◎			◎		◎					◎										
			エ	時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。											◎						◎				
			オ	言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。										◎		○					○				
			カ	我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。																					
			キ																						
〔思考力、判断力、表現力等〕	書くこと	(1)	ア	自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。						◎				◎											
			イ	自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。																					
		(2)	ア	本歌取りや折句などを用いて、感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり、伝統行事や風物詩などの文化に関する題材を選んで、随筆などを書いたりする活動。							●				●										
			他	上記以外の言語活動									●										12		
	読むこと	(1)	ア	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。			○		○			○								◎					
			イ	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。			◎		◎					◎					○		○				
			ウ	文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。						◎						○									
			エ	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること																					

(様式2)

[illegible]

(様式2)

令和 6 年度 沖縄県立北山高等学校 年間指導計画表																	科目名		論理国語				2 単位		
					学科	普通科・理数科		学年	2学年																
目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。														教科書		大修館書店『新編 論理国語』							
指導事項・言語活動例		月 単 元 名	指導時数	4	5		6	7	9		10	11	12	1	2		3								総 時 数
				ど う 論 理 的 な 論 議 の 出 来 な い か な																					

(様式2)

[illegible]

(様式2)

令和 6 年度 沖縄県立北山高等学校 年間指導計画表														科目名										論理国語			2 単位					
														学科	普通科・理数科	学年	3学年															
目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。												教科書		大修館書店『新編 論理国語』																
月		単元名		4	5		6	7	9		10	11	12	1	2												総時数					
				『自己探求を する力』		『思考を の深める ーナス』		『視点 の人類を 変えて 進化から 考える 誕生』		『現代を 考える こととする こと』		『未来に 目を向けて なり』																				
				13		16		16		14		11																				
指導事項・言語活動例				指導時数				13		16		16		14		11										70						
〔知識及び技能〕	(1)	A	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解すること。																													
		I	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。												○							◎		○								
		U	文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。																													
		E	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。																													
	(2)	A	主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。														○															
		I	情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深く使うこと。																				○									
		U	推論の仕方について理解を深く使うこと。																													
	(3)	A	新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めること。																													
	〔思考力、判断力、表現力等〕	A書くこと	A	実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集。整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めること。																												
I			情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。																													
U			立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。																													
E			多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすること。																													
O			個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫すること。																													
K			文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直ししたりすること。																													
A			特定の資料について、様々な観点から概要などをまとめる活動。																													
I			設定した題材について、分析した内容を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにまとめたりする活動。																													
U			社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を参考にして、自分の考えを短い論文にまとめ、批評し合う活動。																													
E		設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述する活動。																														
(1)		A	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握すること。												◎																	
		I	文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えること。																													
		U	主張を支える根拠や結論を書く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。																													
		E	文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価すること。																													
		O	関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。																			○		◎								
		K	人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めること。																					◎								
		K	設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要の情報を読み取って自分の考えを広げたり深めたりすること。																						○							
		A	論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする活動。																													
	I	社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする活動。																														
(2)	U	学術的な学習の基礎に関する事柄について書かれた短い論文を読み、自分の考えを論述したり発表したりする活動。																														
	E	同じ事柄について異なる論点をもつ複数の文章を読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする活動。																														
	O	関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする活動。																														
評価方法・評価材料			知 思 態	記述の点検 記述の確認 行動の確認	記述の点検 記述の確認 行動の確認	記述の点検 記述の確認 行動の確認	ペーパーテスト ペーパーテスト レポートの記述	記述の点検 記述の確認 レポートの記述	ペーパーテスト ペーパーテスト レポートの記述	記述の点検 記述の確認 レポートの記述	記述の点検 記述の確認 レポートの記述	記述の点検 記述の確認 レポートの記述	記述の点検 記述の確認 レポートの記述	記述の点検 記述の確認 レポートの記述	記述の点検 記述の確認 レポートの記述										合計							
																								70								

『表現探究』年間指導計画【3 学年・理数科選択】

科目			単位数		指導学年		使用教科書		
表現探究			2 単位 (70時間)		第 3 学年 理数科		大修館書店『国語表現』		
科目の目標			国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。		生徒の実態と指導の重点		理数科選択Ⅰ科目。少人数で手厚い指導を行いながら、文章力や表現力、思考力を伸ばしていけるよう指導する。		
学年	学期	月	教科書単元名／教材名		時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
2 年次	1 学期	4 5	【第1部】表現力を培う 1 言葉と出会う	レッスン 1 言葉と表記	3	【知・技】 (1)ア、ウ	・表記の決まりを意識し、正しく書く。 ・漢字や慣用表現を正しく使う。	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。〔(1)ア〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		6 7		レッスン 2 整った文を書く	2	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B (1)オ	・係り受けについて理解する。 ・文末表現について理解する。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするために、係り受けや文末表現の統一を正確に理解して、表現のしかたを工夫している。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・練習問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	2 学期	9 10		レッスン 3 相手に応じた言葉遣い	2	【知・技】 (1)イ、ウ	・敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。 ・話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。 ・和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、その使い分けについて理解する。	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解し、適切に使い分けている。〔(1)イ〕 ・語彙の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、事象を的確に描写したり説明したりするために、相手に応じた言葉遣いを的確に使い分けている。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・相手に応じた言葉を使い分けることについて、積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		11 12		レッスン 4 わかりやすい文を書く	2	【思・判・表】 B (1)オ、カ	・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や手段に応じた適切でわかりやすい文を書く方法を理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、長すぎる文やあいまいな文を避け、読点を適切に用いるなど、工夫している。〔B (1)オ〕 ・「書くこと」において、自分が書いた文や文章が、読み手にわかりやすく伝わるかどうかを吟味し、表現全体を整えたり、読点の打ち方を工夫したりしている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・練習問題を解くことで、わかりやすい文にする学習に積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	3 学期	1 2			レッスン 5 文のつながり	2	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B (1)カ	・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。	【知識・技能】 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために、接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い方を吟味し、文章全体を整えている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつながりに着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。
		3	■実践トレーニング①	2	【知・技】 (1)イ・ウ 【思・判・表】 B (1)カ	・言葉と表記、係り受け、文末表現の統一、接続表現の使い方などを意識し、より適切な表現になるように吟味する。 ・原稿用紙の使い方を理解する。	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・単元 1 のまとめとしての設問に積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート	

学年	学期	月	教科書単元名／教材名		時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
3 学年		4	2 伝える、伝え合う	レッスン1 自己紹介ゲーム	2	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A (1)ア・エ	・自己紹介のやりとりをとおして相互理解を図る。 ・取り上げる内容は話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、自己紹介している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、内容を検討している。〔A (1)ア〕 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、同意や共感が得られるよう表現を工夫している。〔A (1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ゲームをとおして言葉で伝え合うことを楽しみ、基礎的な対話活動に前向きに取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		5		レッスン2 言葉のストレッチ体操 【表現への扉】「それでいいです」／意図理解の難しさ	1	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A (1)エ・カ	・聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションに対する意識をもつ。 ・コミュニケーションの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢をもつ。	【知識・技能】 ・話し言葉や非言語的表現の特徴と役割について理解を深め、目的や場面に応じた適切な表現を理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A (1)エ〕 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、共感を伝えたり相手の思いや考えを引き出したりしている。〔A (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・伝え合うことの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		6		レッスン3 絵や写真を見て書く	3	【思・判・表】 B (1)オ・カ	・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。	【知識・技能】 ・説明の順序や5W1H、比喩を用いた説明など、相手に伝わるように書く文章について理解を深めている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、伝えたい情報を整理し順序立てて、事象を的確に描写・説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1)オ〕 ・「書くこと」において、読み手に効果的に伝わるように書かれているかを吟味して、自分の文章の特長や課題をとらえ直している。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・絵や写真を文章で説明することに興味をもち、相手に伝わるように書く練習に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		7		レッスン4 マイニュース記事を書こう	4	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B (1)ア	・5W1Hを明確にし、事実と意見を区別して文章を書く。	【知識・技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深める。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にする。〔B (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近なテーマを見つけ、ニュース記事を書く活動に積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
2 学期	9	3	小論文・レポート入門	レッスン1 小論文とは何か	3	【思・判・表】 B (1)ア・イ	・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	【知識・技能】 ・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。〔B (1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン2 反論を想定して書く	4	【思・判・表】 B (1)ア・イ・ウ	・反論を想定して小論文を書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、説得力のある理由を吟味して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。〔B (1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・反論を想定し、説得力を高めた小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン3 文章を読み取って書く 【表現への扉】「再生」は日常生活から／時代の気分、言葉の温度／藤井新棋聖	5	【思・判・表】 B (1)イ・ウ	・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った文章の要旨から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。〔B (1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章から読み取ったことをふまえて小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン4 統計資料を読み取って書く 【表現への扉】データを読む③／データを読む④	5	【思・判・表】 B (1)イ・エ	・統計資料から読み取ったことをふまえて論点を整理する。 ・統計資料から読み取ったことをふまえて小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った統計資料から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・統計資料から読み取れることをもとに小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

学年	学期	月	教科書単元名／教材名		時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
			レッスン5 発想を広げて書く	4	【思・判・表】 B (1) ア・イ	・発想を広げるための方法を理解する。 ・テーマをもとに発想を広げて小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて発想を広げるための方法を理解し、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、発想を広げたことをふまえて、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。〔B (1) イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・与えられたテーマから発想を広げて小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
			レッスン6 レポートを書く	5	【思・判・表】 B (1) ア・オ B (2) イ	・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて説得力のあるレポートをまとめる。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、多角的な視点でアンケート調査の方法を考えて行い、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 ・「書くこと」において、文章と図表や画像などを関係付けながら、レポートや報告書を作成している。〔B (2) イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・調べたことをレポートにまとめることに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
			レッスン7 論文を書くために	2	【思・判・表】 B (1) ア・オ	・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したり、引用の方法や参考文献の示し方や注の付け方などに留意するなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1) オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論文を書くことや、論文を書くときの留意点に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
	10	4 自己PRと面接	レッスン1 自分を見つめて	1	【知・技】 (1) ア 【思・判・表】 A (1) ア	・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。〔(1) ア〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。〔A (1) ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
			レッスン2 効果的な自己PR	2	【思・判・表】 A (1) ア・ウ	・自分の特長を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書く。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。〔A (1) ア〕 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。〔A (1) ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
			レッスン3 将来の自分を考えよう	3	【思・判・表】 B (1) ア・エ	・就きたい職業に就くために必要なことを、適切な方法で調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の職業や自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1) エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の将来を考えたり職業について調べてまとめたりする活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
			レッスン4 志望理由を書こう	3	【思・判・表】 B (1) ア・エ	・志望先についての情報を適切な方法で集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけて、説得力のある志望理由を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、志望先と自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1) エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
	11	レッスン5 自己推薦書や学修計画書を書く	3	【知・技】 (1) イ 【思・判・表】 B (1) ア・エ B (2) ア	・志望先に提出する書類に求められていることを適切に理解する。 ・具体的で要素の関連性を重視した書類を書く。 ・適切な言葉遣いで書類を書く。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1) イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 ・「書くこと」において、自分の思いや考えについて、文章の種類を選んで書いている。〔B (2) ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文書を書くときの留意点や、より説得力のある書類を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト		

学年	学期	月	教科書単元名／教材名		時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
		12		レッスン6 面接にチャレンジ	2	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(1)ア・エ A(2)ア	・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的に説得力のある答え方で答える。	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解して使っている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A(1)エ〕 ・「話すこと・聞くこと」において、面接の場で自分のことを伝えたり、それらを聞いて批評したりしている。〔A(2)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・面接の留意点や面接での言葉遣いについて興味をもち、意欲的に自己評価や相互評価まで取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	3 学期	1 2		レッスン7 グループディスカッションをしよう	2	【思・判・表】 A(1)カ・キ A(2)エ	・グループディスカッションのねらいを理解する。 ・積極的に話し合いに参加し、話し合いに貢献している。 ・ほかの人の話をよく聞き、その趣旨や価値を理解している。	【知識・技能】 ・目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をしている。〔A(1)カ〕 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの主張や論拠を吟味したり、進行や展開を助けるために発言を工夫したりしながら、話し合いのしかたや結論の出し方を工夫している。〔A(1)キ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループディスカッションに興味をもち、学習に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				■実践トレーニング②	2	【知・技】 (1)イ・ウ 【思・判・表】 A(1)エ	・志望先に提出する書類として、適切な表記・表現を用いる。 ・面接の際の適切な言葉遣いや応答のしかたを考える。	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A(1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・エントリーシートの書き方や面接の際の話し方に興味をもち、よりよい表現を考える活動に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

2024年度 国語科 古典研究年間指導計画

科目 古典研究	単 位 数	3 単 位	指導者氏名	検 印	校 長	教 頭
	学科・学年・学級	3年理数科（選択A）	印			

1 学習の到達目標など

学 習 の 到 達 目 標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材など	「プログレス言語文化 総演習（いいずな書店）」・「古文・漢文と一緒に学ぶ 古典の手引き及び定着ノート（いいずな書店）」・「わかる・読める・解ける 古文単語330（いいずな書店）」

2 学習計画及び評価方法など

(1) 学習計画など

第 1 学 期									
月	教材	配 当 時 間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標		具体的な評価規準	評価方法	考 査 範 囲
4	清少納言「枕草子」	7	筆者の美意識やものの見方を読み取るとともに、当時の宮廷生活について理解する。 学習指導要領の指導事項 ウ／エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとする。	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとしている。	行動の観察	第1学期 中間 考 査
					主体的 態度	筆者の美意識や機知を読み取る。	筆者の美意識や機知を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識 技能	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検	
5	「三国志」の世界	4	話の内容を的確に読み取り、登場人物の心情を考えるとともに、その人間像を読み比べる。 学習指導要領の指導事項 エ／オ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	それぞれの場面に描かれた人間像を読み比べようとする。	それぞれの場面に描かれた人間像を読み比べようとしている。	行動の観察	
					主体的 態度	登場人物の言動や心理などを的確に読み取る。	登場人物の言動や心理などを的確に読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識 技能	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検	
6 7	紫式部「源氏物語」	9	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、『源氏物語』への理解を深め、興味関心を高める。 学習指導要領の指導事項 ウ／エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』への興味関心を高める。	物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』をより深く知ろうとしている。	行動の観察	第1学期 期 末 考 査
					主体的 態度	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取る。	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識 技能	基本的な敬語法について理解する。	基本的な敬語法について理解している。	記述の点検	

【課題・提出物など】

- ① 授業で使ったプリントやワークシート
- ② 授業で作成した資料や制作物など
- ③ 相互評価カード
- ④ 授業ノート

【第1学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、期末考査の成績（知識・技能/思考・判断・表現）70％、小テスト10％、学習活動への参加の姿勢や態度20％です。

第 2 学 期									
月	教材	配 当 時 間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標		具体的な評価規準	評価方法	考 査 範 囲
9	漢詩（古体詩）	6	情景と作者の心情が融合した境地を味わうとともに、漢詩の構成などについて理解する。 学習指導要領の指導事項 エ／オ	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。	思考 判断 表現	漢詩に描かれた人物や情景・心情などを表現に即して味わおうとする。	漢詩に描かれた人物や情景・心情などを表現に即して味わおうとしている。	行動の観察	第2学期 中間 考 査
					主体的 態度	それぞれの漢詩が表現している内容や情感を理解する。	それぞれの漢詩が表現している内容や情感を理解している。	行動の分析 記述の確認	
					知識・ 技能	古体詩の詩形の多様性について理解する。	古体詩の詩形の多様性について理解している。	記述の点検	
	孟[ケイ]「人面桃花」	2	話の展開を的確に読み取るとともに、登場人物の心情を理解する。 学習指導要領の指導事項 イ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	当時の中国における死生観や恋愛観について考えようとする。	当時の中国における死生観や恋愛観について考えようとしている。	行動の観察	
					主体 態度	登場人物の人間像と心理の動きを読み取る。	登場人物の人間像と心理の動きを読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識・ 技能	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検	
10	李復言「杜子春伝」	3	話の展開を整理し、登場人物の言動などを的確に読み取るとともに、日本の近代文学と読み比べる。 学習指導要領の指導事項 イ／オ	イ 同じ題材を取り上げた文章や同じ時代の文章などを読み比べ、共通点や相違点などについて説明すること。	思考 判断 表現	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとしている。	行動の観察	
					主体的 態度	登場人物の言動や心理などを的確に読み取り、杜子春の人間性を理解する。	登場人物の言動や心理などを的確に読み取り、杜子春の人間性を理解している。	行動の分析 記述の確認	
					知識・ 技能	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検	
	「大鏡」	8	歴史の流れの中で、登場人物の境遇や心情を読み取るとともに、歴史物語の特徴と文学史的意義を理解する。 学習指導要領の指導事項 ウ／オ	イ 同じ題材を取り上げた文章や同じ時代の文章などを読み比べ、共通点や相違点などについて説明すること。	思考 判断 表現	登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとする。	登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとしている。	行動の観察	第2学期 期 末 考 査
					主体 態度	登場人物の人間関係や心情を読み取る。	登場人物の人間関係や心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識 技能	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。 基本的な敬語法について理解する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。 基本的な敬語法について理解している。	記述の点検	
11	司馬遷「史記」	7	話の展開を読み取るとともに、古代中国の歴史が持つおもしろさや登場人物の魅力を読み味わう。 学習指導要領の指導事項 ウ／エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする。	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。	行動の観察	
					主体的 態度	話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取る。	話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識・ 技能	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検	
	紀貫之「古今和歌集仮名序」	1	歌論を読み、筆者の和歌に対する感じ方や考え方を理解する。 学習指導要領の指導事項 ウ／エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	和歌に対する筆者の感じ方や考え方を理解しようとする。	和歌に対する筆者の感じ方や考え方を理解しようとしている。	行動の観察	
					主体的 態度	筆者が主張する和歌の本質と効用を的確に読み取る。	筆者が主張する和歌の本質と効用を的確に読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識 技能	和歌や歌論の文学史的事項を理解する。	和歌や歌論の文学史的事項を理解している。	記述の点検	
	源俊頼「俊頼髓脳」	1	歌論に示された和歌の評価を理解するとともに、和歌を鑑賞する。 学習指導要領の指導事項 イ／エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	歌論において和歌をどのような点から評価しているか、理解しようとする。	歌論において和歌をどのような点から評価しているか、理解している。	行動の観察	第2学期 期 末 考 査
					主体的 態度	それぞれの和歌に対する評価の内容を理解するとともに、和歌を鑑賞する。	それぞれの和歌に対する評価の内容を理解するとともに、和歌を鑑賞している。	行動の分析 記述の確認	
					知識・ 技能	主な歌論を整理するとともに、和歌の修辞法を広く理解する。	主な歌論を整理するとともに、和歌の修辞法を広く理解している。	記述の点検	
12	思想と寓話	7	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする。 学習指導要領の指導事項 ウ／エ／オ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	個々の相違点を意識しながら、それぞれの思想家の主張を理解しようとする。	個々の相違点を意識しながら、それぞれの思想家の主張を理解しようとしている。	行動の観察	
					主体的 態度	簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら、内容を的確に読み取る。	簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら、内容を的確に読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識・ 技能	基本的な句法・語法を理解する。 諸子の思想について理解する。	基本的な句法・語法を理解している。 諸子の思想について理解している。	記述の点検	

【課題・提出物など】

- ① 夏休みの課題
- ② 授業で使用したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した資料や制作物など
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第2学期の評定方法】

- ① 課題テスト，提出物の評価と定期考査の成績，小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し，10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は，期末考査の成績（知識・技能/思考・判断・表現）70%，小テスト10%，学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第 3 学 期										
月	教材	配 当 時 間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標			具体的な評価規準	評価方法	第3学期 期末考 査
1	「無名草子」	1	清少納言と紫式部がどのように評価されているか、的確に読み取る。 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	清少納言と紫式部を評価する際の視点がどのようなところにあるか、理解しようとする。	清少納言と紫式部を評価する際の視点がどのようなところにあるか、理解しようとしている。	行動の観察		
					主体的 態度	話者の評価内容を的確に読み取り、整理する。	話者の評価内容を的確に読み取り、整理している。	行動の分析 記述の確認		
					知識・ 技能	清少納言と紫式部の人物像や、『源氏物語』の成立事情について理解する。	清少納言と紫式部の人物像や、『源氏物語』の成立事情について理解している。	記述の点検		
	鴨長明「無名抄」	1	俊成や俊恵の「おもて歌」についての考え方を読み取るとともに、それぞれの和歌を鑑賞する。 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	「おもて歌」についての考え方を理解しようとする。	「おもて歌」についての考え方を理解しようとしている。	行動の観察		
					主体的 態度	それぞれの和歌を鑑賞し、俊恵の主張を読み取る。	それぞれの和歌を鑑賞し、俊恵の主張を読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識・ 技能	謙譲語「給ふ」の用法について理解する。	謙譲語「給ふ」の用法について理解している。	記述の点検		
	藤原定家「毎月抄」	1	歌論を読み、和歌の「心」と「詞」についての筆者の主張を理解する。 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	和歌の「心」と「詞」についての筆者の主張を理解しようとする。	和歌の「心」と「詞」についての筆者の主張を理解しようとしている。	行動の観察		
					主体的 態度	「古の歌」と「近代の歌」についての筆者の考えを読み取る。	「古の歌」と「近代の歌」についての筆者の考えを読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識・ 技能	歌論に頻出する用語の意味を理解する。	歌論に頻出する用語の意味を理解している。	記述の点検		
	正徹「正徹物語」	1	歌論に述べられている和歌の評価を理解することで、和歌の鑑賞法を学ぶ。 学習指導要領の指導事項 ア／ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	筆者の評を参考にしながら、和歌を鑑賞しようとする。	筆者の評を参考にしながら、和歌を鑑賞しようとしている。	行動の観察		
					主体的 態度	語順や助詞の違いなどによって、詩歌の世界がどのように変化するか、理解する。	語順や助詞の違いなどによって、詩歌の世界がどのように変化するか、理解している。	行動の分析 記述の確認		
					知識・ 技能	中世歌論の文学史的事項を理解する。	中世歌論の文学史的事項を理解している。	記述の点検		
	世阿弥「風姿花伝」	1	能楽論に示された筆者の主張を読み取り、その特色を理解するとともに、芸道に対する考え方を深め、視野を広げる。 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとする。	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとしている。	行動の観察		
					主体的 態度	「花」の意味するところを理解し、筆者の芸道観を読み取る。	「花」の意味するところを理解し、筆者の芸道観を読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識・ 技能	古典芸能の流れ、能楽について理解する。	古典芸能の流れ、能楽について理解している。	記述の点検		
	向井去来「去来抄」	1	俳論を読み、筆者の主張を読み取るとともに、焦門俳諧の特色を理解する。 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	筆者の主張を通して、焦門俳諧の特色を味わおうとする。	筆者の主張を通して、焦門俳諧の特色を味わおうとしている。	行動の観察		
					主体的 態度	句に対する筆者の批評を読み取る。	句に対する筆者の批評を読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識・ 技能	俳諧の流れ、焦門について理解する。	俳諧の流れ、焦門について理解している。	記述の点検		
2	「難波土産」	1	近松門左衛門が考える舞台芸能のあり方について理解するとともに、演劇に対する考え方を深め、視野を広げる。 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとする。	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとしている。	行動の観察		
					主体的 態度	「実」と「虚」の関係を理解し、近松の主張を読み取る。	「実」と「虚」の関係を理解し、近松の主張を読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識・ 技能	古典芸能の流れ、浄瑠璃や歌舞伎について理解する。	古典芸能の流れ、浄瑠璃や歌舞伎について理解している。	記述の点検		
	本居宣長「玉勝間」	1	筆者の学問についての主張を理解するとともに、自身の学びについての考え方を深める。 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	筆者の主張を通して、自身の学びについて考えを深めようとする。	筆者の主張を通して、自身の学びについて考えを深めようとしている。	行動の観察		
					主体的 態度	叙述内容を整理して、筆者の学問についての考えを読み取る。	叙述内容を整理して、筆者の学問についての考えを読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識・ 技能	国学の流れについて理解する。	国学の流れについて理解している。	記述の点検		
	本居宣長「源氏物語玉の小櫛」	1	物語論を読み、筆者の論旨を理解するとともに、物語を読む意義などについて考える。 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	筆者の主張を通して、物語を読む意義などについて考えようとする。	筆者の主張を通して、物語を読む意義などについて考えようとしている。	行動の観察		
					主体的 態度	叙述内容を整理して、筆者の述べる「物語」を読む意義を読み取る。	叙述内容を整理して、筆者の述べる「物語」を読む意義を読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識・ 技能	「もののあはれ」について考えを深めるとともに、国学の流れを理解する。	「もののあはれ」について考えを深めるとともに、国学の流れを理解している。	記述の点検		
	柳宗元「捕蛇者説」	2	筆者の論旨を的確に理解し、自己のものの見方や考え方を豊かにする。 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	筆者がこの文章を書いた意図を理解しようとする。	筆者がこの文章を書いた意図を理解しようとしている。	行動の観察		
					主体的 態度	筆者が考える幸福と政治の本質を読み取る。	筆者が考える幸福と政治の本質を読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識・ 技能	唐宋八大家について理解する。	唐宋八大家について理解している。	記述の点検		
3	蘇軾「赤壁賦」	2	情景や叙情の描写の美しさを味わうとともに、作者の人生観を理解する。 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	この文章に見られる作者の人生観を理解しようとする。	この文章に見られる作者の人生観を理解しようとしている。	行動の観察		
					主体的 態度	情景や叙情の描写の美しさを読み味わう。	情景や叙情の描写の美しさを読み味わっている。	行動の分析 記述の確認		
					知識・ 技能	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検		
	韓愈「師説」	2	論の展開を整理し、筆者の論旨を的確に理解するとともに、自己のものの見方や考え方を豊かにする。 学習指導要領の指導事項 ウ／エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	思考 判断 表現	筆者がこの文章を書いた意図を理解しようとする。	筆者がこの文章を書いた意図を理解しようとしている。	行動の観察		
					主体的 態度	「師」について筆者がどのように考えているかを読み取る。	「師」について筆者がどのように考えているかを読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識・ 技能	基本的な句法・語法を理解する。 唐宋八大家について理解する。	基本的な句法・語法を理解している。 唐宋八大家について理解している。	記述の点検		

- 【課題・提出物など】
- ① 冬休みの課題
 - ② 授業で使ったプリントやワークシート
 - ③ 授業で作成した資料や制作物など
 - ④ 相互評価カード
 - ⑤ 授業ノート

- 【第3学期の評定方法】
- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
 - ② 学期全体の評定は、期末考査の成績（知識・技能/思考・判断・表現）70％、小テスト10％、学習活動への参加の姿勢や態度20％です。

2024年度 国語科 現代文研究 年間指導計画

使用教科書等：いいずな書店『プロGRESS現代文総演習・三訂版』

科目 現代文研究	単 位 数	3 単 位	授 業 担 当 者		校 長	教 頭
	学科・学年・学級	理数科・3学年・3組（選択B）	印			

1 学習の到達目標など

学 習 の 到 達 目 標	近代以降の様々な文章に触れ、構成・展開・要旨などを的確に理解する力を育てる。
使用教科書・副教材など	いいずな書店『プロGRESS現代文総演習・三訂版』、数研出版『クリアカラー国語便覧』など。

2 学習計画及び評価方法など

(1) 学習計画など

学期	教 材 名	学 習 内 容（学習活動）	評 価 規 準 例（評価方法・指導要領との関連）	備 考
1	1. 評論：詩・ことば・人間	・言葉についての筆者の意見をおさえる。	・文章全体の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えている。（知・技）	中間調査
	2. 随想：食卓のエッセイ	・人間をどう表現しているかに目を向ける。	・作家の母をもつ「私」の思いを読み取っている。（思・判・表）	
	3. 小説：雨傘	・登場人物のものの見方をおさえる。	・登場人物の設定について確認している。（知・技）	
	4. 評論：ほんの読み方	・キーワードから筆者の主張に迫る。	・本文で述べられている主題を捉えている。（思・判・表）	
	5. 評論：ことばと文化	・文化の比較をしながら、筆者の意見を読み取る。	・筆者の感じる問題点をおさえている。（思・判・表）	
	6. 小説：その日	・生と死のテーマをを読み取る。	・心情を表した描写（直接・間接）をおさえている。（知・技）	期末調査
	7. 評論：人間関係	・筆者の人間関係に対する考えを読み取る。	・繰り返して述べられる事柄に注目し、筆者の意図を捉えている。（知・技）	
	8. 評論：動物の言い分 人間の言い分	・ものに見るまなざしについて説明する。	・体験から主張につながる事柄をおさえている。（思・判・表）	
	9. 小説：一瞬の風になれ	・主人公の友情への思いを読み取る。	・移り変わる場面のなかで主題を把握する。（思・判・表）	
2	10. 評論：混沌からの表現	・日本人のもののとらえ方をおさえる。	・具体例をふまえて、論の展開を把握している。（知・技）	中間調査
	11. 評論：ひとはなぜ服を着るのか	・認識について考察する筆者の考えを読み取る。	・逆接の接続語から、意見や主張をおさえる。（知・技）	
	12. 評論：あたまの目	・知識と経験を考察する筆者の主張を読み取る。	・文末の表現に注意して筆者の考えをつかむ。（思・判・表）	
	13. 随想：科学者と芸術家	・筆者の創作への思いを読み取る。	・文学的な表現から、随想作品を味わう（知・技）。	
	14. 小説：ビッグ・フットの大きな靴	・家族への思いを読み取る。	・作品中の小道具（象徴）に着目して読んでいる。（知・技）	
	15. 評論：「しきり」の文化論	・東洋と西洋の文化比較をおさえる。	・対比的な内容を捉えている。（知・技）	期末調査
	16. 随想：像のブランコ	・寄り添う親子の姿、親の思いを読み取る。	・人物の気持ちに着目して作品の主題に迫っている。（思・判・表）	
	17. 評論：ヒトは従属栄養生物である	・筆者の捉えている「生物の本質」について読み取る。	・問題意識をふまえ、現状の分析を把握している。（思・判・表）	
	18. 評論：日本のこころ、日本人のこころ	・日本の風土と精神とは何か理解する。	・批判をおさえることで、筆者の考えに迫っている。（思・判・表）	
	19. 評論：記号論への招待	・ことばの進化についての問題点について考える。	・内容をおさえ、意味段落を把握している。（知・技）	
	20. 小説：あすなろ物語	・少年の成長を通してその心情の変化を捉える。	・心情の変化とそのきっかけを把握している。（思・判・表）	
3	21. 評論：速度礼賛から時の成熟へ	・科学技術の変化について理解する。	・ある物事に対する筆者の着眼点を確認している。（思・判・表）	学年末調査
	22. 評論：共生と共死	・共生の意味について捉える。	・時間や時代の変化の記述に目を向けている。（知・技）	
	23. 小説：蘭学事始	・志について読み取る。	・三人称の内面描写をおさえている。（思・判・表）	
	24. 評論：和の思想	・日本文化のあり方からわかることは何か読み取る。	・常識を再検討する筆者の視点をおさえる。（思・判・表）	

- 【課題・提出物など】
- ① 授業で使用した冊子やプリント、ワークシート
 - ② 授業で作成した資料や制作物など
 - ③ 相互評価カード
 - ④ 授業ノート
- 【評定方法】
- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価します。
 - ② 学期全体の評定は期末考査の成績（知識・技能/思考・判断・表現）70％，小テスト10％，学習活動への参加の姿勢や態度20％です。

『国語表現』 年間指導計画 【2 学年・3 学年普通科】

科目			単位数		指導学年		使用教科書		
国語表現			2 単位 (70時間× 2)		第 2 ・ 3 学年 普通科		大修館書店『国語表現』		
科目の目標			国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。		生徒の実態と指導の重点		2 年次より国語科内選択科目。少人数で手厚い指導を行いながら、文章力や表現力、思考力を伸ばしていけるよう指導する。		
学年	学期	月	教科書単元名／教材名		時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
2 年次	1 学期	4 5	【第1部】表現力を培う 1 言葉と出会う	レッスン 1 言葉と表記	3	【知・技】 (1) ア、ウ	・ 表記の決まりを意識し、正しく書く。 ・ 漢字や慣用表現を正しく使う。	【知識・技能】 ・ 言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。〔(1)ア〕 ・ 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・ 「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	・ 観察 ・ ワークシート ・ 小テスト
		6 7		レッスン 2 整った文を書く	2	【知・技】 (1) イ 【思・判・表】 B (1) オ	・ 係り受けについて理解する。 ・ 文末表現について理解する。	【知識・技能】 ・ 書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・ 「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするために、係り受けや文末表現の統一を正確に理解して、表現のしかたを工夫している。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 練習問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。	・ 観察 ・ ワークシート ・ 小テスト
	2 学期	9 10		レッスン 3 相手に応じた言葉遣い	2	【知・技】 (1) イ、ウ	・ 敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。 ・ 話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。 ・ 和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、その使い分けについて理解する。	【知識・技能】 ・ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解し、適切に使い分けている。〔(1)イ〕 ・ 語彙の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・ 「書くこと」において、事象を的確に描写したり説明したりするために、相手に応じた言葉遣いを的確に使い分けている。〔B (1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 相手に応じた言葉を使い分けることについて、積極的に取り組もうとしている。	・ 観察 ・ ワークシート ・ 小テスト
		11 12		レッスン 4 わかりやすい文を書く	2	【思・判・表】 B (1) オ、カ	・ 長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・ 読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	【知識・技能】 ・ 書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や手段に応じた適切でわかりやすい文を書く方法を理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・ 「書くこと」において、長すぎる文やあいまいな文を避け、読点を適切に用いるなど、工夫している。〔B (1)オ〕 ・ 「書くこと」において、自分が書いた文や文章が、読み手にわかりやすく伝わるかどうかを吟味し、表現全体を整えたり、読点の打ち方を工夫したりしている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 練習問題を解くことで、わかりやすい文にする学習に積極的に取り組もうとしている。	・ 観察 ・ ワークシート ・ 小テスト
	3 学期	1 2		レッスン 5 文のつながり	2	【知・技】 (1) ウ 【思・判・表】 B (1) カ	・ 接続表現の種類と働きを理解する。 ・ 文脈による文のつながりを理解する。	【知識・技能】 ・ 自分の思いや考えを多彩に表現するために、接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・ 「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い方を吟味し、文章全体を整えている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつながりに着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。	・ 観察 ・ ワークシート ・ 小テスト
		3		■実践トレーニング①	2	【知・技】 (1) イ・ウ 【思・判・表】 B (1) カ	・ 言葉と表記、係り受け、文末表現の統一、接続表現の使い方などを意識し、より適切な表現になるように吟味する。 ・ 原稿用紙の使い方を理解する。	【知識・技能】 ・ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 ・ 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・ 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 単元 1 のまとめとしての設問に積極的に取り組もうとしている。	・ 観察 ・ ワークシート

学年	学期	月	教科書単元名／教材名		時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
3 学年		4	2 伝える、伝え合う	レッスン1 自己紹介ゲーム	2	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A (1)ア・エ	・自己紹介のやりとりをとおして相互理解を図る。 ・取り上げる内容は話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、自己紹介している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、内容を検討している。〔A (1)ア〕 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、同意や共感が得られるよう表現を工夫している。〔A (1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ゲームをとおして言葉で伝え合うことを楽しみ、基礎的な対話活動に前向きに取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		5		レッスン2 言葉のストレッチ体操 【表現への扉】「それでいいです」／意図理解の難しさ	1	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A (1)エ・カ	・聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションに対する意識をもつ。 ・コミュニケーションの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢をもつ。	【知識・技能】 ・話し言葉や非言語的表現の特徴と役割について理解を深め、目的や場面に応じた適切な表現を理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A (1)エ〕 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、共感を伝えたり相手の思いや考えを引き出ししたりしている。〔A (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・伝え合うことの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		6		レッスン3 絵や写真を見て書く	3	【思・判・表】 B (1)オ・カ	・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。	【知識・技能】 ・説明の順序や5W1H、比喩を用いた説明など、相手に伝わるように書く文章について理解を深めている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、伝えたい情報を整理し順序立てて、事象を的確に描写・説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1)オ〕 ・「書くこと」において、読み手に効果的に伝わるように書かれているかを吟味して、自分の文章の特長や課題をとらえ直している。〔B (1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・絵や写真を文章で説明することに興味をもち、相手に伝わるように書く練習に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		7		レッスン4 マイニュース記事を書こう	4	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B (1)ア	・5W1Hを明確にし、事実と意見を区別して文章を書く。	【知識・技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深める。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にする。〔B (1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近なテーマを見つけ、ニュース記事を書く活動に積極的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
2 学期	9	3	小論文・レポート入門	レッスン1 小論文とは何か	3	【思・判・表】 B (1)ア・イ	・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	【知識・技能】 ・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。〔B (1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン2 反論を想定して書く	4	【思・判・表】 B (1)ア・イ・ウ	・反論を想定して小論文を書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、説得力のある理由を吟味して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。〔B (1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・反論を想定し、説得力を高めた小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン3 文章を読み取って書く 【表現への扉】「再生」は日常生活から／時代の気分、言葉の温度／藤井新棋聖	5	【思・判・表】 B (1)イ・ウ	・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った文章の要旨から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 ・「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。〔B (1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章から読み取ったことをふまえて小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン4 統計資料を読み取って書く 【表現への扉】データを読む③／データを読む④	5	【思・判・表】 B (1)イ・エ	・統計資料から読み取ったことをふまえて論点を整理する。 ・統計資料から読み取ったことをふまえて小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、読み取った統計資料から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1)ア〕 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・統計資料から読み取れることをもとに小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

学年	学期	月	教科書単元名／教材名		時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
				レッスン5 発想を広げて書く	4	【思・判・表】 B (1) ア・イ	・発想を広げるための方法を理解する。 ・テーマをもとに発想を広げて小論文を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて発想を広げるための方法を理解し、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 ・「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、発想を広げたことをふまえて、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。〔B (1) イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・与えられたテーマから発想を広げて小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			レッスン6 レポートを書く	5	【思・判・表】 B (1) ア・オ B (2) イ	・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて説得力のあるレポートをまとめる。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、多角的な視点でアンケート調査の方法を考えて行い、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 ・「書くこと」において、文章と図表や画像などを関係付けながら、レポートや報告書を作成している。〔B (2) イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・調べたことをレポートにまとめることに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
			レッスン7 論文を書くために	2	【思・判・表】 B (1) ア・オ	・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したり、引用の方法や参考文献の示し方や注の付け方などに留意するなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1) オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論文を書くことや、論文を書くときの留意点に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	
	10	4	自己PRと面接	レッスン1 自分を見つめて	1	【知・技】 (1) ア 【思・判・表】 A (1) ア	・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。〔(1) ア〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。〔A (1) ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン2 効果的な自己PR	2	【思・判・表】 A (1) ア・ウ	・自分の特長を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書く。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。〔A (1) ア〕 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。〔A (1) ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン3 将来の自分を考えよう	3	【思・判・表】 B (1) ア・エ	・就きたい職業に就くために必要なことを、適切な方法で調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の職業や自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1) エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の将来を考えたり職業について調べてまとめたりする活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				レッスン4 志望理由を書こう	3	【思・判・表】 B (1) ア・エ	・志望先についての情報を適切な方法で集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけて、説得力のある志望理由を書く。	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、志望先と自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。〔B (1) エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
11			レッスン5 自己推薦書や学修計画書を書く	3	【知・技】 (1) イ 【思・判・表】 B (1) ア・エ B (2) ア	・志望先に提出する書類に求められていることを適切に理解する。 ・具体的で要素の関連性を重視した書類を書く。 ・適切な言葉遣いで書類を書く。	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1) イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B (1) ア〕 ・「書くこと」において、自分の思いや考えについて、文章の種類を選んで書いている。〔B (2) ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文書を書くときの留意点や、より説得力のある書類を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト	

学年	学期	月	教科書単元名／教材名		時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
		12		レッスン6 面接にチャレンジ	2	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 A(1)ア・エ A(2)ア	・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的に説得力のある答え方で答える。	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解して使っている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A(1)エ〕 ・「話すこと・聞くこと」において、面接の場で自分のことを伝えたり、それらを聞いて批評したりしている。〔A(2)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・面接の留意点や面接での言葉遣いについて興味をもち、意欲的に自己評価や相互評価まで取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
	3 学期	1 2		レッスン7 グループディスカッションをしよう	2	【思・判・表】 A(1)カ・キ A(2)エ	・グループディスカッションのねらいを理解する。 ・積極的に話し合いに参加し、話し合いに貢献している。 ・ほかの人の話をよく聞き、その趣旨や価値を理解している。	【知識・技能】 ・目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をしている。〔A(1)カ〕 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの主張や論拠を吟味したり、進行や展開を助けるために発言を工夫したりしながら、話し合いのしかたや結論の出し方を工夫している。〔A(1)キ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループディスカッションに興味をもち、学習に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
				■実践トレーニング②	2	【知・技】 (1)イ・ウ 【思・判・表】 A(1)エ	・志望先に提出する書類として、適切な表記・表現を用いる。 ・面接の際の適切な言葉遣いや応答のしかたを考える。	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。〔(1)イ〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A(1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・エントリーシートの書き方や面接の際の話し方に興味をもち、よりよい表現を考える活動に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

『文学国語』 年間指導計画 【2 学年・3 学年普通科】

科目	単位数	指導学年	使用教科書
文学国語	2 単位 (70時間× 2)	第2・3学年 普通科	大修館書店『新編 文学国語』
担当者			
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。	生徒の実態と指導の重点	2 年次より国語科内選択科目。読解力や理解力、思考力を高めていけるよう指導する。

学期	月	教科書単元名／教材名		時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
1	4	【1】 1 明日をひらく	そとみとなかみ	6	【知・技】 (1)ア (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・筆者のいう「外側」と「内側」を理解し、外側と内側の関係について考える。 ・「外側と内側」のように物事を比較してとらえ、認識を深める。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
		5 6	[書く]言葉でスケッチ ①一言で心をつかもう	4	【知・技】 (1)ア 【思・判・表】 A(1)ア	・写真やイラストに合ったおもしろい言葉を考える。 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。[A(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・作品
		古典の世界1	児の飴食ひたること	6	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・話のおもしろさと教訓をとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の言動や話のおもしろさを読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	6 7	2 小説を楽しむ (一)	ナイン	8	【知・技】 (1)イ 【思・判・表】 B(1)イ	・場面の設定のしかたをとおして登場人物の心情を考える。 ・情景描写の効果を考えながら読む。	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈している。[B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
2	9	3 詩を味わう	小景異情	2	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)エ	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
			永訣の朝	3	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)エ	・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	10	古典の世界2	月やあらぬ	7	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・男が月を見て感じた心情を読み取る。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	11	4 名作を読む	山月記	10	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ウ	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ・漢文訓読調の文章の魅力を味わう。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。[B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、小説の文体や登場人物の心情について理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	12	表現を味わう	[書く]思いを言葉に ①エッセイを書こう	6	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 A(1)イ	・不特定の読み手を想定し、自分の思いを表現したエッセイを書く。 ・既存の作品も参考にしながら、構成や表現を工夫して書く。	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。[A(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読み手を想定して、相手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書こうとしている。	・観察 ・ワークシート ・作品
3	1	5 社会に生きる	鮑	7	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)エ	・小説を読む楽しさを味わう。 ・この話に込められた寓意を読み取り、考えを深める。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。[B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、この話に込められた寓意を読み取ろうとしたり考えを深めたりしようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト
	2	古典の世界3	行く河の流れ	7	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・作品に表れている作者の考え方をとらえる。	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、自分の身の回りのできごとと比較しながら作者の考え方をとらえようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト

学 期	月	教科書単元 名／教材名		時 間	学習指導要領と の対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
	3	読書の広場	鉄道員	4	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)ア	・読書に興味をもち、積極的に読書に取り組む。 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。	【知識・技能】 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。[(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・読書に興味をもち、登場人物の人間関係や心情などを意識しながら作品を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期テスト